

事前評価個表

整理番号	6
------	---

地域（地区）名	<small>しょうない</small> 庄内	事業名	森林環境保全整備事業
計画策定主体	山形県	対象市町村	<small>つるおかし</small> 鶴岡市ほか3市町
事業実施期間	H30 ～ H34（5年間）	事業実施主体	県、市町、森林組合、森林所有者等

事業の概要・目的	<p>本地区は、山形県の北西部に位置し、西は日本海と、北は烏海山などの山岳により秋田県と、南は以東岳などの山岳により新潟県と隣接し、東は月山などの出羽丘陵地により最上村山森林計画区と接している。</p> <p>これら東南北の三方を山地に囲まれた中央部に最上川をはじめ、赤川、日向川の諸河川で形成された庄内平野がある。</p> <p>この区域は鶴岡市、酒田市、三川町、庄内町、遊佐町の2市3町で構成されており、区域内の森林面積は約162千ha（67%）であり、このうち民有林は約69千ha（43%）、民有林中の人工林は約37千ha（人工林率54%）となっている。</p> <p>本地区の森林資源の状況を見るとⅤ齢級（保育期）までが約1千ha（3%）、ⅩⅡ齢級（間伐期）までが約23千ha（62%）、それ以上が約13千ha（35%）と間伐期の占める割合が高い。</p> <p>森林は、木材等の林産物の供給、水源涵養、山地災害の防止等の機能発揮を通じて、県民生活と深く結び付いてきたが、近年これらに加えて、保健・文化・教育的な利用の場の提供、良好な生活環境の保全等の機能の発揮や、地球温暖化の防止や生物多様性の保全等への寄与等、森林の持つ多面的機能への期待が高まっており、森林に対する要請も高度化・多様化している。</p> <p>本事業では、水源涵養や県土保全等の公益的機能の発揮に加え、安定した木材供給を図るため、間伐期の森林の間伐を推進するとともに、高齢級の人工林についても適切な主伐、再造林等の森林整備を計画的に実施する。</p>
事業内容・事業費	<p>森林整備：3,633ha 人工造林、下刈り、枝打ち、除伐、間伐等</p> <p>総事業費：2,219,498千円</p>
費用対効果分析結果	<p>B/C = 4.94 （総便益（B）=14,272,475千円、総費用（C）=2,889,727千円）</p>
評価結果	<p>必要性：公益的機能の維持、森林整備の緊急性からみて必要性が高い。</p> <p>効率性：費用対効果分析の結果から十分な効率性が認められる。</p> <p>有効性：適切な森林管理により、水源涵養・県土保全等の公益的機能の確保や、林業生産の増大が期待でき有効である。</p>

便 益 集 計 表

(森林整備事業)

事業名: 森林環境整備保全事業

都道府県名: 山形県

地域(地区)名: 庄内^{しょうない}

(単位: 千円)

大 区 分	中 区 分	評価額	備 考
水源涵養便益	洪水防止便益	2,581,902	
	流域貯水便益	1,078,959	
	水質浄化便益	2,322,347	
山地保全便益	土砂流出防止便益	3,211,355	
環境保全便益	炭素固定便益	3,071,136	
木材生産等便益	木材生産確保・増進便益	2,006,776	
総 便 益 (B)		14,272,475	
総 費 用 (C)		2,889,727	
費用便益比	$B \div C = \frac{14,272,475}{2,889,727} = 4.94$		

森林環境保全整備事業 庄内地域（山形県）概要

